※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００４

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学特別演習	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	新課程版　大学入試短期集中ゼミ　基礎からの数学 I+A Express（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学は難しいものであると思われていますが、しっかりと勉強を積み重ねていけば理解できるものです。まずは授業をよく聞いて内容の理解に努めましょう。内容が理解できたと思ったら、問題を解いてみましょう。問題を解くために頭を働かせることで数学の理解が深まります。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書き残しておきましょう。また、各自で答え合わせをしましょう。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知る大切なものです。しっかりとした心構えで学習を続けてください。

２　学習の到達目標

１年次に学習した数学Ｉや数学Ａの内容を復習しつつ、数学的な考え方を習得することを目指す。また、現在進行形で学習する内容と、すでに学習している内容をつなげて、いろいろな視点から数学的な課題を分析して、問題を解決する態度を身につけることを目指す。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	数学ⅠAの演習	例題1～30の問題の演習 数と式 2次関数	a:定義や公式を理解して使えている。 b:いろいろな視点から問題を考察し、それを式などで表現できる。 c:粘り強く問題に向き合って解決を目指している。	確認テスト	確認テスト 提出物	提出物
2	数学ⅠAの演習	例題30～52の演習 数号と論証 図形と軽量 データの分析	a:定義や公式を理解して使えている。 b:いろいろな視点から問題を考察し、それを式などで表現できる。 c:粘り強く問題に向き合って解決を目指している。	確認テスト	確認テスト 提出物	提出物
3	数学ⅠAの演習	例題52～80の演習 場合の数と確率 図形の性質	a:定義や公式を理解して使えている。 b:いろいろな視点から問題を考察し、それを式などで表現できる。 c:粘り強く問題に向き合って解決を目指している。	確認テスト	確認テスト 提出物	提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度